

令和7年9月定例会

教育民生委員会 会議録

9月17日（水）

防府市議会

- 日 時 令和7年9月17日(水) 午前10時
- 場 所 議会棟3階 全員協議会室
- 付議事件 なし
- その他 付託案件以外の質問
・戦没者追悼式のあり方について
閉会中の継続調査について
市議会議員から選出の審議会等委員について
-

○出席委員(9名)

教育民生委員長	久 保 潤 爾
教育民生副委員長	生 野 美 輪
教育民生委員	上 田 和 夫
〃	河 杉 憲 二
〃	田 中 健 次
〃	原 田 典 子
〃	藤 村 こ ず え
〃	藤 本 真 未
〃	和 田 敏 明

○欠席委員(なし)

○委員外議員(なし)

○説明のため出席した者(3名)

福祉部長	藤 井 一 郎
福祉部次長	伊 藤 忍
福祉総務課長	金 子 千 枝

○出席書記 白 瀧 ナ ミ

午前10時 開会

○久保委員長 皆様、おはようございます。ただいまから教育民生委員会を開催いたします。

それでは、レジュメを御覧ください。

さきの本会議におきまして、教育民生委員会に付託となりました案件はございませんが、付託案件以外の質問通告書が田中健次委員から提出されておりますので、質問をしていただきます。

なお、発言は挙手の上、マイクを持ってお願いいたします。

付託案件以外の質問

○久保委員長 それでは、田中健次委員、質問をお願いします。

○田中（健）委員 さきの一般質問の中で河村議員から、戦後80年ということでいろいろ質問がされて、この戦没者追悼式のこと少し触れられたと思います。通告書と一緒にお示しをしている新聞記事、これは30年前のほうふ日報のものですが、実はこのときには当時は、私の質問の趣旨に書いてありますように、戦後50年というときは一つの節目だったので、市主催で戦没者・戦災殉難者合同追悼式及び平和記念式典という形で、空襲で亡くなられた方も追悼して平和を祈念するという形で、当時はこの年だけ市主催の追悼式で、市主催の追悼式は戦後49年にも51年にも52年にもなくて、当時は護国神社奉賛会会長が市の連合自治会長さんだったと思います。そういう形でやるという形でしたが、その後、市主催という形になって現在のような形になっております。それで実は、10年前の12月議会でも同じような質問を先ほどのほうふ日報の記事も示しながらしたんですけども、その10年前と比べても、戦後80年という形になると遺族の方はもう限られた人数になりますし、こういう形でするのがどうかという、市主催のこの追悼式も私毎年参加しておりますが、年々減少化しているような気がいたします。まだ1年、2年、もうちょっと続けられるかもしれませんが、こういう形で次の10年後はどんな形になっているのかということを考えるときに、若い世代に引き継ぐことが大事だという河村議員さんの一般質問の趣旨に私も大いに同感するところがありまして、高校生の代表だとかそういう方も参加可能なように土曜・日曜での開催も検討すべきではないか。今、平日の開催です。先ほどの新聞記事のあれは8月19日、夏休みのときなので高校生が参加できたかもしれませんが、これ新聞記事、日にちが出ていますのでたどっていくと、当時はこれ土曜日ですね。この新聞記事の上のほうに8月22日火曜日の「火」が少し消えかけていますけども、たどっていくと19日は土曜日ということになります。そういう形で当時夏休みの期間中でしたけども、土曜日という形でされたのは、そういう意図があったのではない

かと思えます。そういう意味で、夏休みにされれば無理に土日でなくてもいいのかもしれませんが、ということを考えます。

それから、10年前にお聞きしたときに、戦没者というのはいわゆる戦争に参加して兵隊として行って亡くなった方を戦没者というんですが、この戦後50年のときには戦没者・戦災殉難者合同という言い方をしています。戦争殉難者、戦争被害者を併せて追悼し、平和を祈念する式とするということの検討をということです。10年前の答弁では、戦没者の中に戦争で亡くなられた、空襲だとかそういうことで亡くなられた方も含まれているとこういう言われ方もしましたが、その辺ちょっと併せて確認の意味で質問したいと思えます。

私のほうの質問の趣旨は、以上のとおりですので、よろしく御答弁ください。

○久保委員長 ただいまの質問に対する答弁を求めます。

○金子福祉総務課長 御質問にお答えします。

まず1点目の、参加者も高齢化とともに年々減少しており、高校生の代表等の参加も可能なように土日での開催も検討すべきではないかという御質問にお答えします。

戦没者追悼式の参列者は、議員御指摘のとおり、年々減少傾向にあります。先日の一般質問でも市長が答弁しましたとおり、より多くの市民、若い世代の方々に参列していただけるようしっかりと取り組んでまいります。

現在、今年度の戦没者追悼式については、市公式ユーチューブでのライブ配信をする方向で調整をしております。

2点目の、戦没者だけでなく戦災殉難者も併せて追悼し、平和を祈念する式とすることを検討すべきではないかという御質問にお答えします。

本市主催の戦没者追悼式は、平成25年から現在の形式で開催しております。当初からこの戦没者には、戦地での死没者のほか、原爆や空襲の被害に遭われた方など戦災により亡くなられた方全ての方を含んでおります。

以上です。

○田中（健）委員 いろいろとホームページで示したとかいうことは、それは結構なことだし、わざわざ会場まで来られるのが大変な方にはライブ配信ということもありがたいことかもしれませんが、ただ、次の世代に受け継ぐということであれば、今、高校生という例を出しましたけれども、中学生などもそういった戦争について学ぶということもあるわけで、そういう形で何らかのそういうことを今後すぐ――私の質問は10月に予定されておるそれをすぐこういうふうに変えろという話ではなくて、もう既にいろいろと我々のところにも案内状が届いておりますから、今からそういうことは難しいと思うんですが、今

後ぜひその辺をしっかりと検討していただきたいということだけ強く要望しておきます。そうしないとこの戦没者追悼式というものがどんどん先細りになっていくというのか、そういう形になろうと思います。

それから、2番目のところですけども、戦没者だけでなく空襲に遭われた方、あるいは原爆被害者の方もということで、そういう意味で徳山の海軍工廠で亡くなられた当時の防府女学校ですか、それと三田尻女学校というのか、そこの生徒さんが亡くなられたということで、両校の校長先生に今、代表献花という形でしていただいているとのことで、そういったことも併せて分かるわけなのでその点結構だろうと思います。もしそういうことであれば、防府市には原爆被害者の会というのもあります。社会福祉協議会が毎年主催される障害者のスポーツ大会のときには、各施設だとか参加団体の名前が、もう今解体した緑町の文化福祉会館の壁に貼ってありますけど、その中に原爆被害者の会というのもあったので私承知しておるんですが、そういう方もぜひ、先方が都合がつかなくて来られないということであれば別ですけども、今後はそういうふうな形にしていただければそのことがよりはっきり伝わるのではないかと思いますので、この辺のところも今後検討いただくようお願いをしたいと思います。

私のほうからは以上です。

○久保委員長 ほかの委員の皆様、この件に関して何か執行部にお聞きになりたいことはございますか。

○和田委員 すみません、質問に乗っかるような形で申し訳ないんですけど、私も桑山護国神社様のお世話を、藤村委員も一緒に今までしてきたんですが、やっぱり先ほど田中健次委員が言われたように、先細りというか、戦後80年たっていますから遺族の方も本当に御高齢で、今3世になるとほとんど戦没者に対して興味を示さない方がすごく多くて、そこでお手伝いいただける方もどんどん減ってきているということで、今現状としては遺族会の世話を我々遺族会じゃない者がやっているような状況の中で、そうすると併せてこっちがやっぱり先細りしていくというのは事実だろうというふうに思います。その中で一番怖いのが、歴史を知らない、事実を知らない、こういうことがあったんだ、戦争はやっちゃいけないんだということをやっぱり広く皆さんに広めていく必要があるという中で、今、田中健次委員が言われたようなことはごもつともだと思います。教育の段階からそういったことをしっかりと教えていただきたいということをお願いして、終わります。

○久保委員長 要望でよろしいですか。

○藤村委員 私も1点要望になるかと思いますが、まず終戦記念日が8月15日なんですけど、この市の戦没者追悼式が、10月だったり11月だったりするときもありますよね。

その頃というのはやっぱり日本中が追悼のこととか戦争のこととかを思ったり、振り返ったり、子どもたちという時期ではあるのに、大分過ぎてからの追悼式というののもちよつと何か違和感があるなというふうに今までも思っていたところではあります。私、小学校とか中学校で読み聞かせのボランティアもしているんですけど、8月は夏休みなのでそれに入る前、7月とか、夏休みが明けてすぐぐらいのときに平和学習というのを毎回するんですよね。そのようにやっぱり小さいうちから、小学生の段階から、もちろんみんな戦争とか知らないけど、でも今ニュースとか見ると世界でもそういう戦争が起こっているというのをお話しながら、そういうことは絶対やっちゃいけないし、これからもやっちゃいけないんだよということをちっちゃいうちから教えていく教育というか大事だと思うので、やっぱり夏休みの開催というのもいいんじゃないかなというふうに思います。時期的にですよね。ということをお私は一つ要望して、そして小学生、中学生、高校生という学生の皆さんにも参加していただける追悼式になったらいいんじゃないかなというふうに思います。

以上です。

○久保委員長 要望でよろしいですか。

執行部、これに対する何か答弁等はございますか。よろしいですか。

ほかに、委員の皆様いかがでしょうか。よろしいですね。

それでは、以上で付託案件以外の質問を終了いたします。

執行部の皆様、御退席いただいて結構です。お疲れさまでした。

閉会中の継続調査について

○久保委員長 引き続き、委員の皆様には、閉会中の継続調査について御協議をお願いいたします。

前回までの調査項目は、健康福祉について、障害者福祉について、児童福祉について、介護保険事業について、学校教育について、生涯学習について、公民館について、地域クラブ活動について、留守家庭児童学級についてでございましたが、いかがいたしましょうか。

○田中（健）委員 これでもいいんですが、牟礼の公民館が間もなく竣工という話がありますので、見学会だとか何かその辺のところはぜひ、どうなっているのか、ちょっと事前に今までこういうものができたときにはあったと思うんですけど。

○久保委員長 ありがとうございます。では確認した上でまた委員の皆様にはお知らせするようにいたしますので、ありがとうございました。

ほかによろしいですか。

それでは、現在の調査事項ということで、これで御異議ないものとしてよろしいでしょうか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○久保委員長 御異議ないものと認めます。

よって、防府市議会会議規則第108条に基づき、議長に申出をいたします。

なお、委員会の開催日時については、正副委員長で協議の上、改めて皆様に御案内いたしますので、よろしく願いいたします。

市議会議員から選出の審議会等委員について

○久保委員長 次に、その他の項でございますが、市議会議員から選出の審議会等委員について、御協議をお願いします。

現在、原田委員に防府市民生委員推薦会委員をお願いしておりますが、任期が満了となることから、次期委員の推薦について御協議を頂きたいと思っております。

なお、委員の推薦に当たっては、男女共同参画の観点から、執行部より女性委員の積極的な登用のお願いがあることを申し添えます。いかがでしょうか。（「再任」と呼ぶ者あり）再任の声がありますが、原田委員よろしいでしょうか。

それでは、ただいま御協議いたしましたとおり、防府市民生委員推薦会委員には原田委員を推薦することといたします。

ほかに、ここで提案されるようなことがございますでしょうか。よろしいですかね。

以上で、教育民生委員会を散会いたします。大変お疲れさまでした。

午前10時18分 散会

防府市議会委員会条例第30条第1項の規定により署名する。

令和7年9月17日

防府市議会教育民生委員会委員長 久保 潤 爾